

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	栄養委員会事業		コード	保健課健康係
事業実施期間	S46年4月		02-02-06-02	担当者 丸上 始企子
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり		
	小項目	健康づくり		
	施策	地域における食育活動		

事業について	
目的	栄養委員会の組織育成とレベルアップを図ることにより栄養改善に努める
対象 (誰のために)	栄養委員
内容	栄養委員会および研修会を実施

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
栄養委員会及び研修会	95 回		
	1,614 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,317	国県補助金等	22	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	7,347	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	9,664	市債		合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.12	人		人
結果指標名	委員会・研修会実施回数			
結果指標量	95			
単位	回			
対前年比	-			
事業費	9,664,000	円	0.00%	円
単位当たりコスト①	101,726	円		円

結果指標名	委員会・研修会参加人数			
結果指標量	1,614			
単位	人			
対前年比	-			
事業費	9,664,000	円	0.00%	円
単位当たりコスト②	5,988	円		円

事業の成果			
成果指標名	総会、栄養委員研修会参加率	式又は説明	総会、栄養委員研修会参加人数/ 栄養委員会委員数
成果指標量	17年度 75 %		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	85 %	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 備前市栄養委員会規則
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	栄養委員会は地域と密接に連携を保ちながら栄養改善事業を実施しているが、栄養委員の交代時期にあたり新年度当初の活動にゆりみがあった。栄養委員会事業の目的である地区組織育成の上からも次年度の活動に配慮した委員交代が必要である。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	98	結果指標量②	1,680
目標値 成果指標量	78 %		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	栄養委員会の活動内容や目的を回覧、新聞、地区公民館活動に参加すること等により伝える。	平成18年度後期	地区組織の強化、栄養委員活動の充実
効率性	栄養改善委託料の予算化	平成18年度	栄養委員会の自主性を高める
有効性	栄養委員会組織の見直し	平成19年度	地域住民へのサービスを目的とした団体意識の向上